



創立20周年 記念事業推進会発足する

さる六月二十八日母校会議室において、創立二十周年記念事業推進会が発足した。会長には後援会会長の深井明氏が就任し、同窓会からは会長の大坂谷良弘氏をはじめとする七名が幹事として役員に加わった。

この推進会は創立二十周年という輝ける母校の発展を祝い、また今後ますますの発展を祈念し、母校の教育活動を積極的に支援することを目的として発足したものである。

母校では創立二十周年という記念すべき年を迎えるに当たり、教育環境の一層の拡充を図ることを目標として、左記に掲げる事業が計画実施されることになっているが、同窓会としても九月八日役員会を開催し、これら事業に全面的に協力することを全会一致で決議した。

記

- 一、第二体育館及び多目的ホールの新設
 - 一、運動場の拡張
 - 一、全教室への冷暖房設備の設置
 - 一、その他
- 二十周年記念小史の刊行

同窓生の

皆さんへ

同窓会 会長

大坂谷良弘(第一期)



私は第一期生の代表者です。丸井寛之前会長に代わり、昭和六十二年より同窓会会長を務めさせて頂いております。当同窓会には昭和五十年に発足以来、名簿の刊行・母校の行事への参加・総会の開催などを通じて本会発展のために努力してまいりました。

月日が経つのは早いもので、明年で母校も創立二十周年を迎え、同窓生も七千名を数えるまでになりました。同窓会では、これを機に母校への恩返しと、本会の大きな飛躍を期して、会報「城友」を発刊することに致しました。「城友」という名称は、私が数年前卒業式において挨拶申し上げている中に、「城西出身、そこから生まれる友情を大切にしましょう」と必ず伝えておりました。この言

葉の中から役員の方々のご賛同を得て「城友」と命名させて頂きました。これからも役員共々、母校発展のために努力してまいりますので、皆様もご理解応援のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、母校も先生方のお力で、すっかり進学校として成長を遂げましたが、さらに有名になって頂きたく、同窓会では高校・大学・実社会を一つの線で結ぶような情報交換の場をめざし、二つの目標を掲げて、今後の同窓会活動を

「城友」創刊

に寄せて

幹事長

猪瀬 晴久(第二期)

私が、同窓会活動に携わる事になりましてから、まもなく三年が経とうとしております。振り返りまして、この三年間の具体的な活動結果を説明いたしますと、八七年八月に第一回の総会(於ホテルメトロポリタン)を開催できたこと、又、二回目の同窓会名簿を発行できたこと、この二点が、大きな出来事でございます。総会につきま

した、約百三十名のご出席をいただき大変好評を得ることができました。残念ながら、現状として、資金の問題も有り、できましたら五年に一度の開催をめざして継続させていきたいと考えております。同窓会名簿につきま

事となりまして、まだまだコンピューターを使い切れていない状況でしなで、利用する上で不便な点も多々ございました。次回、次々同窓会が組織らしい組織と体制の充実を計っていきたく考えております。

そして、今回母校が創立二十周年を迎えるにあたり、同窓会報「城友」の創刊となりました。しかしながら、最近の企業内問題でございまして、同窓会本部もマンパワー不足に悩んでおり、学校、同窓会顧問の先生方に多大なご支援をいただいているのも現状でございます。そこで、皆様方に提案お願いがございます。以前から、推進しようと思いつかなかつた、推進しない同窓会の支部設置につきまして、これを機にご協力いただきたい所存であります。

具体的には、埼玉県内をたとえば、四、五地区に区分けをして、そこに支部長を設け、二・三名の役員以下地区内同窓生というような形式の小組織として、地域に根付いた情報交換同窓会活動の場としていただきます。そして、この城友に積極的な情報提供または投稿をお願いいたします。又次期同窓会名簿発行のための活動なども協力いただきたいと思っております。

現在の同窓会におきまして、今後の発展を計るためにもこの支部設置ということは不可欠のことと考えています。これが確立されて初めて同窓会が組織らしい組織としてみたいと思っております。私共、同窓会活動に参加、今後も継続していこうと思う理由は次の二つございまして、一つは、何と云っても自分のためです。体裁の良い事を言わせていただければ、これが自分に与えられた大きなチャンス。もう一つは、いかに時間がかからうとも、母校への同窓会が育っていく、同窓生による同窓生のための一大インフュージョンセンターと化していかないかという期待があるからです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

本会役員
副会長 関根 利洋(第二期)
編集局長 田中 英夫(第一期)
企画委員 清水 良昭(第四期)
四谷 真(第六期)
岩澤 昂人(第十一期)
堀 剛典(第十一期)
内藤 勇(第十一期)

同窓会顧問 志賀 謙一先生
若山 望先生
泰野 康夫先生

昔の今と 語りとの恩師

先生方、本日は大変忙しいところ有難うございます。十年ひと昔と申しますが、生徒も大分変わったと思います。その辺の印象から伺いたいと思います。

戸波先生 最近の高校生は受験に追われてい

るせい、一般に打算的という感じがします。なにか以前は学校生活がアットホームな感じで、話しをしていても相手に對する思いやりが感じられました。

栗林先生 ええ、たしかに今の生徒よりも以前の生徒のほうが大人だったように思います。会話なども先生と生徒という具合にきちんとしていましたが、逆に今は感情をあらわにする生徒が多く大人としての会話は難しいようです。

——私達が在籍しているところは体と体のぶつかり合いというのは日常茶飯事で、それが当然のことと受けとめていたが——

鈴木先生 私は体力には相当自身をもってはいますが……笑い

社会的な風潮もあって、今では体でぶつかるよりもコンコンとお説教することが多いですね。

橋本先生 今の生徒が悪いとか、言うのではなく、教育に対する社

会一般の考え方がクルルになってきているように感じられます。勉強さへ・大学さへ入ってもらえればそれでいい。といった具合で教師と生徒との関係が従来のものと異なっていると思います。

——クラブ活動などについてももうなんでしょうか——

鈴木先生 昔は野武士的な生徒が多かったと思います。目標をもつて練習に没頭するという姿があり、そのかわりサボリもするといった具合でした。今はサボリもしないが、与えられた練習以外はしないという生徒が多いようです。

——神内先生にお聞きしたいのですが、私は卓球部でしたが、当時と比べるといかがでしょうか——

神内先生 イヤー、難しい質問ですね、一期生のころは体育館もなく練習は教室でやっていたような状況でしたが、とにかく皆一生懸命でした。それが練習場や体育館ができ、環境が恵まれば恵ま

れるほど、競争に恵まれば恵ま

なっているのですか——

神内先生 残念ながら全体をみても低迷していると思います。関東大会まで行ったのは、去年陸上部の二人だけでした。

戸波先生 昔は関東は当たり前、

インターハイでしたけど、

——今、クラブ活動のことが多

——今、クラブ活動のことが多

——今、クラブ活動のことが多

——今、クラブ活動のことが多

——今、クラブ活動のことが多

——今、クラブ活動のことが多

——今、クラブ活動のことが多

——今、クラブ活動のことが多



右側から 橋本邦夫・神内岩雄
鈴木進・栗林敏弘・戸波哲先生

——栗林先生にお伺いしますが、日本人の英語の発音ができてない

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場

——栗林先生 受験という生徒の立場



本ノ内宣義 (第一期)

この度の原稿募集をきっかけに卒業以来初めて母校の門をくぐりてみたところ、あまりの感慨ふりに涙してしまいました。第一期生である我々が入学当時は、それこそ校舎もほとんどが未完、体育館も無くましてや学食などはプレハブの中で過ごしたものだ。体育の時間はまず石拾いや草むしりなどで始まり、又河川敷のグラウンドだったので、大雨の後などは、本当に悲惨なもの



でした。田中仁の中にゴロンと浮かんだ白い機を今でも印象に残っています。

現在の状況の中では何不自由のない様に思える環境も、最初からその中で過ごしている方々には細かい部分で不満が生じるかもしれない。しかし多くの努力の積み重ねでここまで立派になったという事だけは在校生の皆さんには理解

してほしいと思う。又この素晴らしい学校で大事な学生生活を送っているという誇りを持って今後の人生を歩んでほしいと思う。最後に城西高校の発展と益々の躍進を願うと共に、諸先生方の御厚力に感謝し、私自身も、何事にも努力を惜しまず、一步一歩成長して行きたいと思っています。

前川 雅文 (第一期)

城友 第一号発行お目出とうございます。第一号に掲載させていただける栄誉を賜り光栄に存じます。振り返りますと、第一回生として入学した時、一棟の校舎しかなく、今ではベテランとなられた先生方も大学を卒業されたばかりで、初々しいかざりでした。我々同様に手探りで学校生活を送っていたと思います。グラウンドも造成したばかりで、石ころがゴロゴロしていたのも懐かしい限りです。体育の授業の時は耕運機を使いグラウンド整備をしたことや三浦先生とマイクパスを洗濯



山田 仁 (第二期)

同窓会報「城友」創刊お目出とうございます。こうして高校生活を振り返って見ると、高校三年をただ人生の通過点とするのか、あるいは青春の財産として心に深く留めておくか、人それぞれ異なると思いますが、私は後者の方です。勿論、在学中にはこのようなことなど夢にも考えませんでした。私の場合非常に安易な気持ちで生徒会長になりましたが、諸先生方やサッカークラブの監督、そして友人達に助けられて、時には怒られ、殴られどろいにかサッカークラブで、またこのことが私の自慢です。ガムシヤ



原田 淳 (第八期)

卒業してから一度も足を運んでいない。総度様変わりしていると思うが、僕の在学中は種々にド田舎だった。無限の十字と水ハケの悪い広大なグラウンドと四季折々の田舎。毎日汗と泥だらけだった事を記憶している。高校時代は兎角背伸びをしたがるものである。TVに出てくる総会や流行の服、バイクのスピード感、煙草とSEX

大いなる田舎に

卒業してから一度も足を運んでいない。総度様変わりしていると思うが、僕の在学中は種々にド田舎だった。無限の十字と水ハケの悪い広大なグラウンドと四季折々の田舎。毎日汗と泥だらけだった事を記憶している。高校時代は兎角背伸びをしたがるものである。TVに出てくる総会や流行の服、バイクのスピード感、煙草とSEX



寄稿者

金で買えないのだ。後輩諸君「背伸びしたヤツは必ず先に金を取る」それだけだ。最後になったが、先生方と我々良き学友と我母校に、栄光あれ。

寄稿のお願い

この会報は毎年十月十五日に発行する予定ですが、同窓生のご活躍の様子や同窓会などの報告を事務局までお知らせ下さい。

川越市山田東町一〇四二
同窓会事務局
☎〇四九二二四一五六六五代

平成2年度 大学合格者数

<国公立大学>

大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計
埼 玉	9	9	18	京 波	0	2	2	金 沢	1	0	1
高崎経済	2	5	7	秋 田	2	0	2	信 州	1	0	1
東 北	4	1	5	福 島	1	0	1	浜松医科	0	1	1
横浜市立	4	1	5	一 橋	0	1	1	滋 賀	0	1	1
横浜国立	3	2	5	北 海 道	1	0	1	島 根	0	1	1
電気通信	2	3	5	室蘭工業	1	0	1	広 島	0	1	1
千 葉	2	3	5	小樽商科	0	1	1	熊 本	1	0	1
東京都立	1	3	4	弘 前	1	0	1	琉 球	1	0	1
宇 都 宮	1	2	3	山 形	1	0	1	九州歯科	0	1	1
東京工業	2	0	2	茨 城	1	0	1				
東京農工	0	2	2	東京商船	1	0	1				
神 戸	2	0	2	東京水産	1	0	1	(合 計)	45	41	86

<大 学 校>

大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計
防 衛	7	2	9	海上保安	0	1	1	(合 計)	7	3	10

<私立大学>

大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計
日 本	64	57	121	神 奈 川	4	8	12	明 星	2	3	5	麻 布	1	0	1
東京電機	23	28	51	独 協	7	4	11	北 里	3	1	4	産 能	1	0	1
東 洋	25	23	48	慶応義塾	3	8	11	明治薬科	3	1	4	横浜商科	1	0	1
早 稲 田	18	28	46	千葉工業	2	8	10	東 邦	1	3	4	広電電機	1	0	1
明 治	14	32	46	上 智	2	8	10	足利工業	0	4	4	第一工業	1	0	1
中 央	16	26	42	東京工芸	7	2	9	昭 和	1	2	3	埼玉医科	0	1	1
法 政	14	28	42	明治学院	5	4	9	千葉商科	2	0	2	聖 学 院	0	1	1
城 西	33	6	39	拓 殖	2	7	9	近 畿	2	0	2	東京情報	0	1	1
成 蹊	22	16	38	明 海	6	2	8	東北薬科	1	1	2	吉 林	0	1	1
大東文化	14	24	38	神奈川工科	4	4	8	日本工業	1	1	2	高千穂商科	0	1	1
工 学 院	18	15	33	国 士 館	5	2	7	中央学院	1	1	2	東京医科	0	1	1
東 海	13	19	32	学 習 院	3	4	7	東京工科	1	1	2	東京歯科	0	1	1
東京理科	11	19	30	立 命 館	3	4	7	東京薬科	1	1	2	日本医科	0	1	1
立 教	10	13	23	成 城	2	5	7	日本歯科	1	1	2	星 薬 科	0	1	1
駒 沢	8	15	23	東京農業	5	1	6	和 光	0	2	2	多 摩 学 校	0	1	1
東京経済	11	11	22	駿 河 台	3	3	6	関東学院	0	2	2	西東京科学	0	1	1
専 修	9	11	20	玉 川	2	4	6	新潟薬科	0	2	2	関 西	0	1	1
青山学院	6	13	19	帝 京	2	4	6	新潟科学	1	0	1	そ の 他	0	3	3
聖 細 重	5	9	14	立 正	2	4	6	国 学 院	1	0	1				
武 蔵	6	7	13	埼玉工業	3	2	5	昭和薬科	1	0	1				
東京国際	7	5	12	相模工業	3	2	5	多摩美術	1	0	1				
芝浦工業	5	7	12	武蔵工業	2	3	5	武蔵野音楽	1	0	1	合 計	459	546	1005

OB会

JPC (写真部の略) 私達には特別にOB会とい

う組織化したものはありませ

から国外へと更なる発展を願って

ールを楽しんでいます。しかしい

川島の田園地帯に生まれ

学校行事である入学直後のオリエ

ンテーション・スキー教室・修学

い出すとして現在でもOBの集まる

現在では会員数も

「せいと今昔」では、母校の現況

この旅行会のもそもものきつ

「絶対やろう」という願

四十人を揃えています。

このなかで中心となる活動は年

その在学時代の思いを寄せて頂き

かけは、昭和五八年度に実施

いが誰からともなく生れ、とうと

このなかにOBも出ており、今後もこ

野球部

今までのつなりの薄くなっていた

い古しの言葉を思い出し、そして

い。運動部に入っている人ならば

合では勝た

現在のOB会は一期生の山之内

今までのつなりの薄くなっていた

私に昭和五七年に母校に

入学し卒業までの三ヶ年、

このドテマ

OB会の試合

年一回の

たしかに勉強に対する苦

しみもあったが、なんといっても

このドテマ

OB会の試合

年一回の

「ドテマ」いわゆる土手をラン

すなわち友人の性格や普段気付か

年だったからしれ

OB会の試合

年一回の

とができない。自然の豊かさとい

また、友人と話をしたりするか

う点ではランニングの条件に恵ま

皆ハンドボ

田中英夫(第一期生)



ハンドボールO・B会

横田雅人(第六期)

